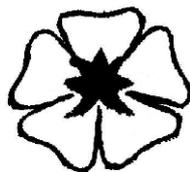




# 光 和



## 三年生

### 初めての社会科見学

三年生になり、国語や算数に加え、社会や理科の学習が始まりました。社会科の学習指導要領では、社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習問題を追究・解決する活動を通して、子供たちのさまざまな資質・能力を育成することが求められています。

今回の社会科見学では、子供たちが、練馬区役所、べじふるセンターなどの現場へ実際に行きました。地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子をより詳しく学ぶことがねらいです。練馬区役所では、展望ロビーと議場を見学しました。特に、議場では選挙で選ばれた議員が実際に座って協議する座席



に座るといふ貴重な体験をさせていただきました。ふかふかの椅子に座って誇らしげな表情を浮かべる子供や、議員さんの出欠席の札を見て、「議員さんの席にはなかなか座れないから嬉しいな。」と、喜ぶ子供もいました。

そして議場見学の最後に、代表に選ばれた子供が議長や議員役となって実際に議会を進める機会もいただきました。議長に選ばれた友達や、議長用の高い演台から議会を進める姿や、議員役になった友達や、本番の議会のルールに做って発言する姿を見ると、「私も、あの場所に立ってみたい。」練馬区の議員になってみたい。」と、夢を新たにもつ子供もいました。

べじふるセンターでは、希望の値段を手で示す競りの仕方を教えていただきました。実際の競りを真似て、値段を子供たちがつけるといふ体験をしました。社会科見学後の算数の授業のときに、競りで習った数字の出し方で、授業に参加する子供を見ると、思い出に残る楽しい経験になったのだな、と見て

いて心が温かくなりました。

また、市場の一日の流れが分かるビデオを見て、朝早くから多くの人が消費者のために働いてくれていることや、市場に出回る商品が多いことを知り、驚いていました。食べ物への生産者の思いや、自分達の手に届くまでの苦勞を理解し、これから食べ物を大切にしていこうという振り返りをする子供もいました。

社会科見学では、教室では学べないことを知ることができたり、実際に見る・触る・聞くなどの体験をすることができたりするなど、貴重な体験ができました。また、子供たちが学校で学習したことと実際の現場で確認することで、自分たちの学びを確かにすることができ、さらに、新しい発見をすることができました。

社会科見学を通して、地域の産業や消費生活の様子について、主体的に学習問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え、学習したことを社会生活に生かそうとする態度が育つてきています。今回の社会科見学を今後の授業に生かし、子供たちに、自分たちの地域のことを深く理解させ、子供たちが地域社会に誇りや愛情をもてるように育てていきたいと思えます。

(文責 三年 石川 晶子)

## 四季折々

校長 城崎 真

「変革の時」

今、教育界が大きな変革の時を迎えています。学校だより七月号「働き方改革」の記事でも紹介させていただきました通り、改革を行うための話し合いを繰り返しています。

現時点でほぼ確定していること、話を進めていること等をお知らせします。

ほぼ確定していることは、運動会の日時です。来年度は、十月の第二土曜日で計画しています。理由としては、一、次の行事である学芸会までの日程を空けるため。二、今まで通り第三土曜日だと、雨で流れた場合、次の火曜日が即位礼正殿の儀で運動会ができないため、の二点です。

話を進めていることは、次の二点です。一つ目は、通知表の行動所見を面談でお話しすることで二学期制の時のように二回にすることです。二つ目は、五月、三月の土曜授業公開を廃止することです。

練馬区教育委員会では、六月から二月の八回、土曜授業公開を行うように定めています。光和小は今まで、区の基準より二回多い十回の土曜授業公開を行ってきました。近隣幼稚園、保育園、中学校、との兼ね合いや保護者の負担を訴える意見も学校アンケートにありました。学校における働き方改革特別部会の答申(平成三十年十一月十三日)では、『校長による大胆な業務削減の必要性』を『各学校が取り組むべき方策』として挙げています。まさに、変革の時なのです。

また、これは次年度一年かけて検討することなのですが、学芸会、展覧会、音楽会のローテーションについても考えています。なくなったり、違わたりになったりすることもあることを、承知ください。

(二〇一九年一月)